



Supervisor Engine 32 の設定

この章では、Catalyst 6500 シリーズ スイッチに Supervisor Engine 32 を設定する手順について説明します。この章で説明する内容は、次のとおりです。

- [Supervisor Engine 32 のフラッシュ メモリ \(p.5-2\)](#)
- [Supervisor Engine 32 ポート \(p.5-2\)](#)



(注)

- この章で使用しているコマンドの構文および使用方法の詳細については、次の URL で『*Catalyst 6500 Series Switch Cisco IOS Command Reference*』 Release 12.2SX を参照してください。
<http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/product/lan/cat6000/122sx/cmdref/index.htm>
- Cisco IOS ソフトウェアを使用する場合、Supervisor Engine 32 の最小必須メモリは以下のとおりです。
 - 512 MB DRAM (Supervisor Engine 32)
 - 512 MB DRAM (MSFC2A)
- Supervisor Engine 32 には、PFC3B があり、PFC3B モードで動作します。
- 3 スロット シャーシまたは 4 スロット シャーシの場合、スロット 1 またはスロット 2 のいずれかに Supervisor Engine 32 を取り付けます。
- 6 スロット シャーシまたは 9 スロット シャーシの場合、スロット 5 またはスロット 6 のいずれかに Supervisor Engine 32 を取り付けます。
- 13 スロット シャーシの場合、スロット 7 またはスロット 8 のいずれかに Supervisor Engine 32 を取り付けます。
- Supervisor Engine 32 は、スイッチ ファブリック 接続をサポートしていません。
- Supervisor Engine 32 でサポートされているハードウェアおよびソフトウェア機能の詳細については、次の URL にある『*Release Notes for Cisco IOS Release 12.2SX on the Supervisor Engine 720, Supervisor Engine 32, and Supervisor Engine 2*』を参照してください。
http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/product/lan/cat6000/122sx/ol_4164.htm

Supervisor Engine 32 のフラッシュ メモリ

Supervisor Engine 32 には、次のフラッシュ メモリがあります。

- **disk0:** — 1 つの外部 CompactFlash Type II スロット (CompactFlash Type II Flash PC カードをサポート)
- **sup-bootdisk:** — 256 MB 内部 CompactFlash Flash メモリ (ROMMON からは **bootdisk:**)

Supervisor Engine 32 ポート

Supervisor Engine 32 ポートのコンソールポートは、EIA/TIA-232 (RS-232) ポートです。Supervisor Engine 32 には、現在イネーブルになっていない 2 つの Universal Serial Bus (USB) 2.0 ポートもあります。

WS-SUP32-GE-3B ポート 1 ~ 8 には、Small Form-Factor Pluggable (SFP) コネクタがあり、ポート 9 には 10/100/1000 Mbps RJ-45 ポートがあります。

WS-SUP32-10GE ポート 1 および 2 には、XENPAK を受け入れる 10 ギガビットイーサネットポートがあり、ポート 3 には 10/100/1000 Mbps RJ-45 ポートがあります。